



▲青少年子ども教室でスライムを作る児童たち



▲地域住民なども参加する「ゆりのき祭り」

地域の話題

若戸校区

地域力を生かした

活気のあるまちづくり

さまざまな行事などを通じ、地域の結びつきを大切にしている若戸校区コミュニティ協議会からお便りが届きました。



若戸 戸校区は、南は壮大な太平洋に面し、北は半島を縦断する山並みが連なり、田原市最高峰の大山(標高327.9m)があるなど、豊かな自然に恵まれた地域です。

若戸校区では、「活気のあるまちづくり」の一環として、市民館を拠点にさまざまな行事を開催しています。

ゆりのき祭り

この祭りは、若戸小学校の校庭にあるユリノキをシンボルに、昭和59年から毎年5月に行われています。子どもたちが考えたゲームやアトラクションが各教室で行われます。児童や保護者だけでなく、住民や保育園児も参加するなど、地域の大人と子どもたちとの交流に欠かすことのできない行事となっています。

市民館まつり

毎年10月に開催し、多くの住民の皆さんが足を運ぶ恒例行事です。

平成24年度は、赤羽根中学校ブラバンド部の演奏で幕が開かれ、芸能発表が行われたほか、絵画や生け花などの作品展示や各種団体によるクレープ屋台などの出店もあり、終日にぎわいました。

青少年子ども教室

この教室は、子どもたちに「作る」「学ぶ」「考える」などの体験を通じて、日常とは違った経験をしてもらうと開催しています。

平成24年度は、「闇夜で光るスライム作り」「ミサンガ作り」「バームクーヘン作り」「親子で作る凧作り



教室」親子で行く遠州三山めぐり」など年6回開催し、約250名が参加しました。

このほか、「校区合同運動会」、地域のひとり暮らしのお年寄りと保育園児が交流する「校区ふれあい会」、練習の成果を競い合う「各種スポーツ大会」などを行っています。

みんなの絆を地域力に

このような地域行事を通じて人と人とがふれあうことで、同世代、異世代間の交流が生まれます。そして地域の活力も絆も一層高まることと期待しています。その地域の結びつきが、地域防犯、地域防災など生活に欠かせない、「かけがえのない礎」となるのだと思います。

今後も若戸校区では、地域力の向上に取り組んでいきます。



▲若戸保育園児による歌の発表(市民館まつり)